Achilles

アキレスローボート取扱説明書

◯アキレスローボートをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書はアキレスローボートのご使用にあたり、安全に航走していただく為の正しい取扱方法と簡単な保守、点検の方法を記載いたしました。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みに下さい。

◯お読みになった後本書を必ず保存してください。又、乗船時には携帯して下さい。
転売や譲渡の場合は、この取扱説明書を新しい所有者に必ず渡して下さい。

◯仕様・規格は予告なしに変更する事があります。

◯取扱説明書の商品は、代表商品の為、お買い上げの商品と異なる場合があります。

◯一度使用したボートの返品はできませんのでご了承下さい。

この取扱説明書には、使用際して、特に重要な案内事項を ⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 マークを使用して表現してあります。これらの３種類のマークにより表現された内容は、以下のような意味を持ちますので、特に注意して下さい。

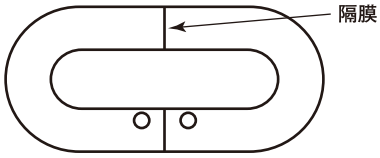
⚠危険 死亡又は重傷につながる差し迫った重大な事故を未然に防ぐための事項を示しております。

⚠警告 死亡又は重傷につながる可能性がある事故を未然に防ぐための事項を示しております。

⚠注意 軽傷又は製品の損傷につながる可能性のある事故を未然に防ぐための事項を示しております。

＜構造＞

アキレスのローボートは安全性を考慮して2気室以上に設計してあり、万一片側の気室が破損しても浮いていることができます。
使用前には気室や、隔膜の損傷の有無を確かめて下さい。



⚠注意

2つの気室には空気を均一に入れて下さい。片方の気室に偏って空気を入れますと、万一空気量の多い気室が破損した場合、残りの気室の空気量が足らず浮力不足になります。

＜空気を入れる前のゴムボートの組み立て方法＞

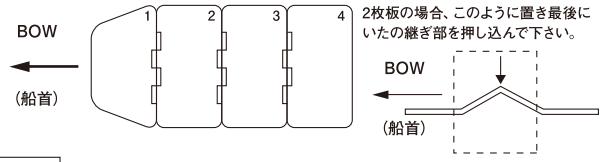
1. 地面の平らなところを選び折りたたんだボートを広げます。
2. バルブ、クッション、底板、イス板、ポンプ、オール等部品がそろっているか確認して下さい。
3. 底板は空気注入前にセットして下さい。

＜底板組立方法＞

底板の No.1 を前にし、空気を入れるようにセットして下さい。

⚠警告

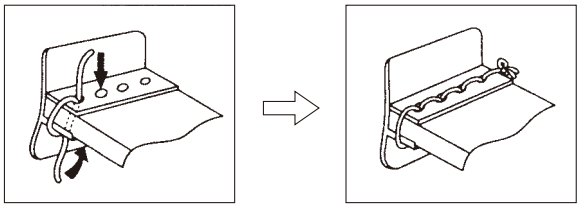
この時、底板の間で本体チューブをはさみ、傷をつけないよう確認しながら行ってください。エアー漏れの原因になります。



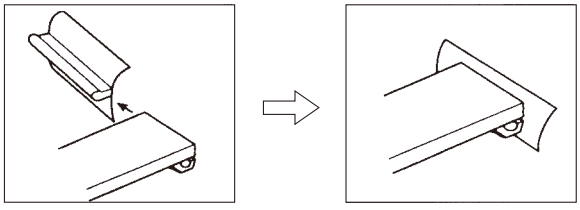
ヒント　底板をうまく取り付けるには、ゴムボートのチューブを良く持ち上げV時型の補強布のかどに底板が差込まれるようにします。

＜腰掛板の取付方法＞

ロープ固定式腰掛板



スライド式腰掛板



※腰掛板の取付けは、ご面倒でもイス板をゴム座ではさみ込むようにしてロープを通してしっかり止めて下さい。

⚠警告

腰掛板をモールドよりずれて取付けたり、エアーが充分でない場合、チューブに損傷を与えエアー漏れの原因となります。

＜空気の入れ方＞

まず、バルブのキャップA及びBを開きます。その後、キャップBのみをしっかり締めます。

⚠警告

空気を入れる際には、足踏み式、又は、手動式及び当社電動ポンプを使用下さい。ガソリンスタンドにあるコンプレッサー或いは高圧ポンプ等は絶対に使用しないで下さい。一つのバルブから順ぐりにボートの形が出来る程度の柔らかさの空気を入れます。この際、空気を入れすぎないで下さい。或る一つの気室に空気を入れすぎますと、内部の隔膜に不必要な圧力を与えることになります。このため各気室に平均した空気を入れるようにして下さい。そうすれば内部の隔膜に平均した圧力がかかることになります。

⚠注意

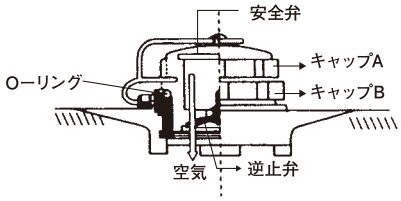
ボートの気室が同じ固さになるまで空気を入れてください。
チューブにあなたの手のひらを押しつけて適当な圧力になったかどうか確かめて下さい。

⚠危険

最大圧力は、0.22kg/cm² (22Kpa) です。これ以上絶対に空気を入れないで下さい。〔適正圧力は0.17kg/cm² (17Kpa) です〕
別途販売しております圧力計で圧力を確かめて下さい。

充気及び排気を早くするためにバルブ直径を大きく設計してあります

キャップBは充気の時に使用出来る逆止弁のついたバルブで、キャップAは安全弁のついたバルブです。
空気を抜く場合には、キャップBを開けるようにして下さい。



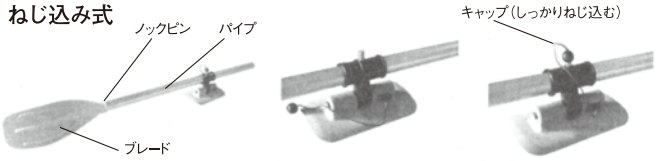
一部のタイプは別のバルブを使用しています。

⚠危険

このバルブの使用に際しては、使用前に必ずOーリング、安全弁、逆止弁が正常にセットされているか確認して下さい。正常にセットされていない場合使用中エアー漏れの危険があります。
又、キャップA、Bともしっかり締め付けて使用して下さい。

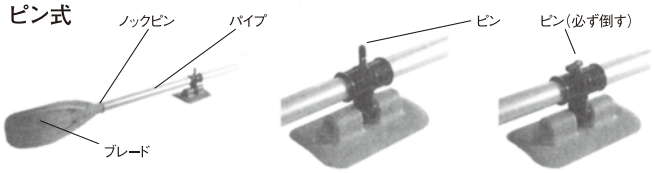
＜オールの取り付け方＞

ねじ込み式



○パイプをブレードに差込みノックピンでしっかり固定します。
○オールロックのキャップをはずしてオールを差込みます。
○キャップをしっかりねじ込みます。

ピン式



○パイプをブレードに差込みノックピンでしっかり固定ます。
○オールロックのピンをまっすぐな状態にして、オールをゆっくりと差込みます。
○ピンを倒します。

⚠警告

・キャップは確実にねじ込んで下さい。オール流出の事故につながります。
・ピン式のピンは必ず倒してご使用下さい。オール流出の事故につながります。
・オールをてこ代わりに使用しないで下さい。オール破損の原因となります。

＜洗浄方法＞

使用のつど、中性洗剤の溶液及び水でゴムボートの表面をきれいにするようにします。必ず砂や小石を取り除き、又、油や汚れを落とすようにして下さい。特に、ボート内側の底とチューブが接している部分に残っていないかどうか注意して下さい。もし、これをやっておかないと輸送中に、これらの異物がゴムボートの材料をこすり、すり傷を作る原因となります。

ゴムボートの使われている材料は、耐摩耗性、耐候性、耐薬品性に優れておりますが、ゴムボートは汚れます。大半の汚れは、洗剤又は水で落とすことが出来ますが、もしどうしても落ちない場合にはシンナー又はトロールを使って下さい。但し、シンナー、トロールを使った後は中性洗剤で洗い、タルク又はベビーパウダーをつけて下さい。

＜保管方法＞

あなたのゴムボートを長持ちさせるために、下記のことをご留意下さい。

完全に乾くまで陰干しをして下さい。(ひっくり返して壁に立てかけるのが最も望ましい乾し方です。)
ひなたに出さないようにして、収納する前に完全に乾かすようにして下さい。そして出来れば若干の空気を入れた上、完全に広げて、暗く、乾燥した場所に置いて下さい。
これが出来ない時には、ゆるく巻いて(決してきつく巻かないこと。)前述したような場所に置いて下さい。もし、きつく巻いたままにしておくと貼り合せ面に必要以上の力がかかりチューブなどの損傷の原因となります。

＜修理方法＞

補修用キットから補修布を取り出し、傷に見合うようにカットして下さい。
(1) チョークで傷の部分に円を書きます。そして、この円の中及び補修布の裏側にサンドペーパーをかけます。
(2) 表面をきれいにした後、円内及び補修布にくまなく糊を塗ります。糊を塗ったら 2~3 分乾かし、又、これを少なくとも 3 回は繰り返して下さい。
(3) このような状況になりましたら、補修布を円内に置きしっかりと押しつけます。そして、先が丸くなったような物で中心から外側に向かって円を書くようにまんべんなくしっかりと下に押しつけます。

⚠注意

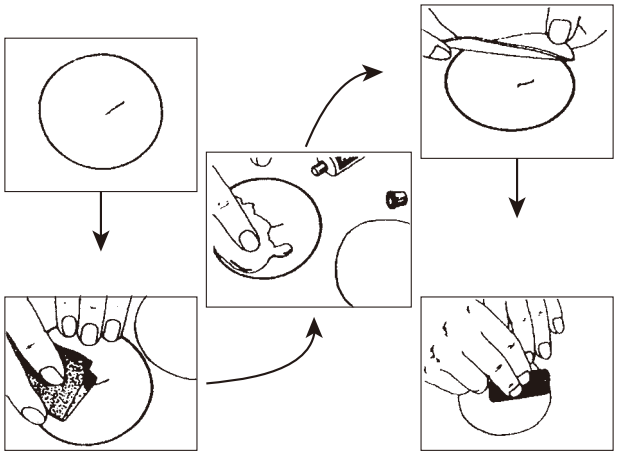
(4) 接着を完結させるため 24 時間は空気を入れないで下さい。その後、注意深く補修した部分が完全に接着していることを確認したあと空気を入れて下さい。

ヒント　空気漏れの場所は、石けん水をぬりますと容易に発見できます。

(5) 備えつけの接着剤が凝固している状態の場合は接着力がなくなっておりますので使用できません。
ご使用の際は、下記の接着材を塗料店、建材店、デパートの日曜大工コーナー等でお買い求め下さい。

ボンドG−17　　コニシ (株) 製

セメダインNo.575　　セメダイン (株) 製



ご自分で修理できない大きな傷の場合は弊社、又はお買い求めの販売店へ相談下さい。

＜注意事項＞

⚠危険

・エアー漏れがないか、バルブがしっかり締め付けられているか、底板が正確に取り付けられているか、チェックしてください。
バルブの使用に際しては、Oーリング、安全弁、逆止弁が正常にセットされているか確認して下さい。
・最大搭載人員および最大搭載重量を厳守して下さい。
・ボートは、貝殻やガラス、岩角などで傷つくことがありますので十分に気をつけて下さい。また、海辺、岩の上でボートを引きずらないで下さい。
・ボートの改造についてはアキレス指定のオプション部品の取り付け以外は行わないで下さい。
・空気は温度が上がると膨張しますので温度の変化により内圧を調整して下さい。内圧は水上で使用するときは高めに、陸に上げた時は低めに調整して下さい。
・ボート遊びをする時は、必ずライフジャケットを着用して下さい。
・ボートは船体が軽い上、底が平面です。風や波が出てくるとまっすぐ漕ぐことが難しくなります。常に天候や波の状態に十分注意し、早めに引き上げるようにして下さい。
・ボート乗船中は火気厳禁です。
・周囲のロープは本体の自重に耐えられる設計となっておりますが、水上バイクや他の船舶で引っぱることは非常に危険ですのでお止め下さい。

⚠警告

・海の気象は急激に変化する時があります。突風、霧等の前兆があれば直ちに帰港して下さい。

・ボートへの飛び乗り、飛び降りは絶対にしないで下さい。

・ガソリン、オイル等の汚れは中性洗剤で良く洗い落として下さい。

⚠注意

・チューブは各気室に分かれている為、1つがエアー漏れを起こしてもすぐ沈没する事はありません。1つの気室が抜けると他の気室も若干しぼみますが、これは隔膜が抜けた気室の方へ移動刷るためで、問題はありません。

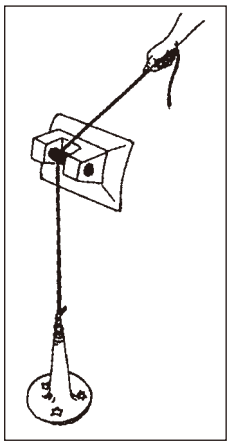
・いつも、オール及び足踏みポンプをお持ち下さい。

・ゴムボートの側面は、丸いチューブで出来ており、乾舷が高くありませんので、ボート内側に水が入ってしまうことがあります。
水に濡れても良い衣服を着用して下さい。

《下図は、当社ローイングボートの代表例です》

ボートの機種により、装備は異なり、ついていない部品もあります。

アンカーロープガイド
アンカーの上げ下ろしがスムーズになります。アンカーロープとチューブがすれることもありません。

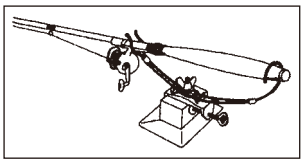


アルミオール
2分割できるので、持ち運びに便利です。

防舷材
接触の衝撃からチューブを守ります。

腰掛板
ローイングにフィッシングに安定性のよい腰掛け板です。アキレスではクッション付きスライド式、スライド式、ロープ固定式の３タイプを用意しています。腰掛板１枚の機種もあります。

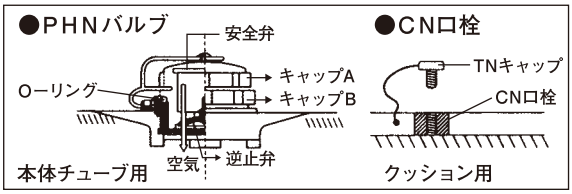
竿掛座
長時間のフィッシングには、とくに機能的な竿掛座です。



ユニバーサルジョイント式
オールクラッチオールが自由自在に動かせる、アキレスだけのオリジナル装備。支点が固定され、ローイングがラクです。オールはオールロックに簡単に取り付けられます。

大型エアーバルブ
ダブルロックの安全設計です。スピーディーな充気ができ、排気も簡単です。

底板
居住スペースに安定感をもたせます。さらに艇体の剛性をサポートし、走行性能を高めるのにも役立っています。艇のサイズと素材別に４タイプの底板があります。



底板のバリエーション

●全面着脱式・タイプ
4枚の底板が全て取り外し可能になっているタイプです。

●3枚着脱式・タイプ
4人又は2人乗り用で3枚の底板になっているものもあります。

●半面着脱式・タイプ
底板２枚が取り外し可能タイプです。

●プラスチック・タイプ
プラスチック製の底板です。
1枚式、2枚式もあります。

あなたの身近にいつも…

Achilles アキレス株式会社

本　　社：〒169-8885　東京都新宿区北新宿2-21-1　TEL:03-5338-9360　FAX:03-5338-9369
新宿フロントタワー

関 西 支 社：〒530-0005　大阪府大阪市北区中之島2-2-7　TEL:06-4707-2315　FAX:06-4707-2305
中之島セントラルタワー

北海道営業所：〒060-0807　北海道札幌市北区北七条西1-2-6　TEL:011-806-2011　FAX:011-806-2015
NCO札幌